

科目区分	専門分野	授業科目	母性看護学援助論Ⅱ
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1 単位 (30 時間)	開講年次	2 年次
目的：産褥期及び新生児期にある対象の身体的・心理的・社会的特徴と健康の保持・増進を目指した看護の方法を理解できる。 目標：1 産褥期及び新生児期の正常な経過と起こりやすい異常を理解できる。 2 産褥期及び新生児期の経過に合わせた看護を理解できる。 3 褥婦・新生児とその家族に対する看護の展開方法を理解できる。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 産褥期における看護	6	1 産褥期の特徴 1) 正常な産褥の経過 2) 産褥期の心理・社会的変化 2 褥婦のアセスメント 1) 産褥経過の診断 2) 褥婦の健康状態 (1) 退行性変化 (2) 進行性変化 (3) 褥婦の生活パターンとセルフケアレベル (4) 不快症状と対処能力 (5) 心理的变化 (6) 関係性・役割獲得 (7) 褥婦を取り巻くサポート態勢 3 褥婦と家族の看護 1) 産褥復古に関する支援 2) 母乳育児への支援 3) バースレビュー 4) 褥婦の日常生活とセルフケアを支える看護 5) 親子の愛着形成への支援 6) 育児技術獲得への支援 7) 家族関係再構築への看護 8) 退院後の生活調整に向けた看護 (1) 家族計画 (2) 活用できる子育て支援 ① 産後の健康診査 ② 新生児訪問・乳幼児全戸訪問事業 ③ 産後ケア事業 (3) 職場復帰	
2 産褥期の異常と看護	4	1 産褥期の異常 1) 子宮復古不全 2) 産褥期の発熱 (1) 産褥熱 (2) 乳腺炎 3) 産褥血栓症 4) 精神障害 (1) マタニティブルー (2) 産後うつ病 (3) 産褥精神病 2 異常のある褥婦の看護	

		1) 感染症を有する褥婦の看護 2) 乳房トラブルを有する褥婦の看護 3) 母子分離時の褥婦の看護 4) 死産、障害をもつ新生児を出産した褥婦・家族の看護 5) 精神障害合併妊婦と家族の看護
3 新生児期における看護	4	1 新生児の生理 1) 新生児の定義 2) 新生児の生理的機能 (1) 新生児の呼吸・循環・体温 (2) 新生児の消化と吸収 (3) ビリルビン代謝と生理的黄疸 (4) 水・電解質代謝・腎機能 (5) 新生児の免疫 (6) 新生児の皮膚 (7) 新生児の反射、感覚機能 (8) 新生児マスキング 2 新生児のアセスメント 1) 新生児の診断 (1) 出生直後の評価、アプガースコア・蘇生の必要性の判断 (2) 発育の評価 (3) 黄疸の評価 (4) 成熟度の評価 (5) 行動の評価 2) 新生児の健康状態 (1) 子宮外生活の適応状態 ① バイタルサイン ② 排せ状態 ③ 哺乳力 ④ 生理的体重減少 ⑤ 黄疸 3 新生児の看護 1) 出生直後の看護 (1) 新生児蘇生法に沿ったケア (2) 母子標識の装着 (3) 点眼 (4) 臍処置 2) 出生後から退院時までの看護 (1) 清潔ケア（ドライテクニック・沐浴） (2) 新生児の栄養 (3) 感染予防 (4) 事故防止 (5) 退院診察と健康診査
4 新生児期の異常と看護	4	1 新生児の異常 1) 新生児仮死 2) 呼吸障害 3) 低血糖 4) 分娩外傷 (1) 頭血腫 (2) 産瘤 5) 低出生体重児 6) 高ビリルビン血症 2 異常新生児の看護

		1) 低出生体重児の看護 2) 高ビリルビン血症児の看護 (1) 光線療法時の看護
5 褥婦・新生児の看護過程	1 1	1 母性看護における看護過程展開の特徴 1) ウエルネスの概念 2) ウエルネス志向の考え方 3) ウエルネス看護診断の特徴 2 褥婦の看護過程の展開 ※1 1) アセスメント 2) 計画立案 3) 実施 4) 評価 3 新生児の看護過程の展開 ※1 1) 出生直後とそれ以降のアセスメント 2) 計画立案 3) 実施 4) 評価
	1	試験
評価方法		筆記試験、レポート等
テキスト		医学書院 母性看護学〔2〕 母性看護学各論 メディックメディア 病気が見える⑩ 産科
参考図書		医学書院 ウエルネスからみた母性看護過程
履修上の留意事項		予習・復習をして授業に臨むこと。 演習・グループワークは積極的な参加姿勢で臨むこと。 提出物は、提出日時を厳守すること。
備考		※1は演習を行う（事例を用いて看護過程を展開）。